



マネベジ for Excel

① 事前準備編 Ver3.00



持続未来株式会社 みんなの情報システム部
2025年6月

目次

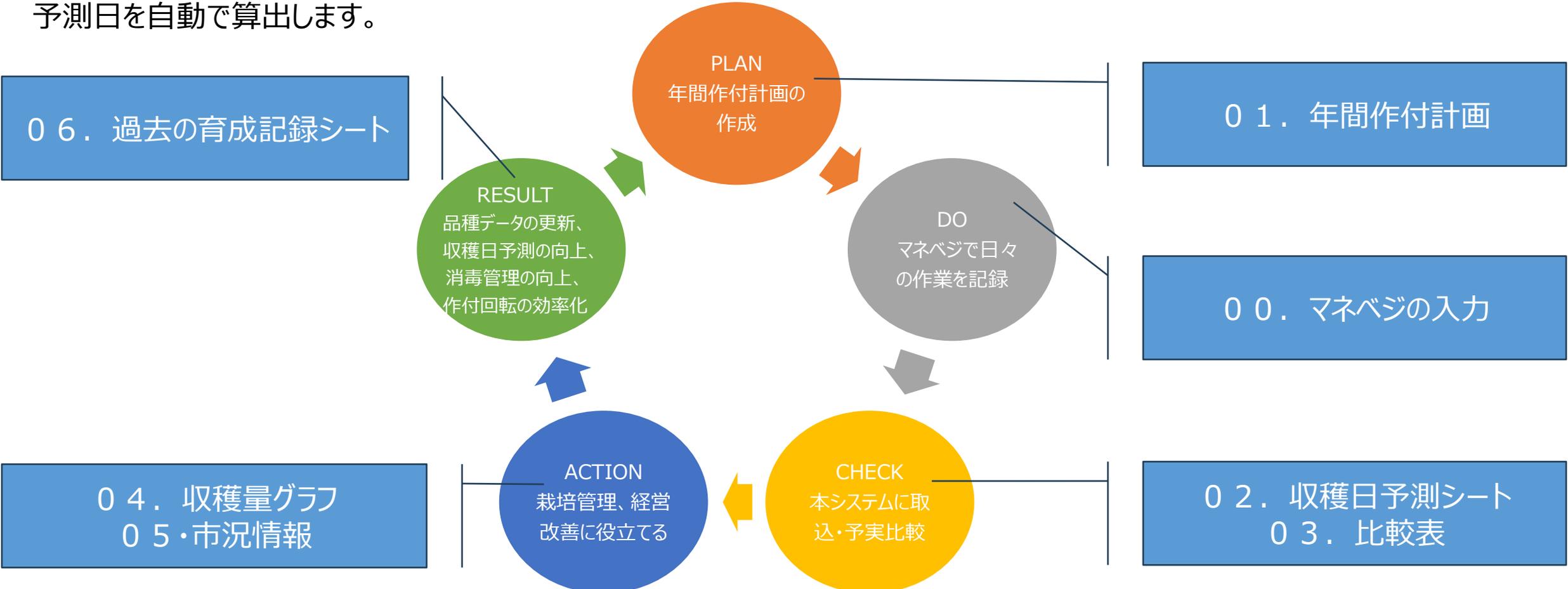
1. システム概要	...	3
2. 動作環境	...	4
補足. Excelのバージョン違いによるエラー	...	7
回避方法		
3. 初回のシステム登録	...	8
4. 注意事項	...	9
5. よくある質問	...	10
6. バージョンアップ	...	11

1. システム概要

本システムは、マネベジユーザーに向け作成した営農支援ツールです。

マネベジで記録した営農データを振り返りに活用したり、生育や栽培情報を詳しく分析することによって、今後の栽培管理、経営改善に役立てることを目的としています。

なお、収穫日予測にあたっては、作物の1cmあたりに必要な伸長温度から、有効積算温度法を用いて目標草丈に達する収穫予測日を自動で算出します。



2. 動作環境

本システムはマイクロソフト社のExcelをベースにVBAで制御・動作をさせるシステムです。
下記のシステム導入環境チェックリストを活用してシステムの利用が可能かご確認ください。

チェック項目	チェック
1. 利用するPCの(OS)は [Windows8][Windows10][Windows11] ですか？	<input type="checkbox"/>
純正の(Excel / Microsoft Office)のVBA機能を利用する為、純正の(Microsoft Windows)上で動作することが必要です。 [Windows9]以前の(OS)でも動作可能ではありますが、(Microsoft)自体がサポートを終了している所以对応できません。 【確認方法】 (OS)によって操作方法は異なります。 例：(Windows10) ①デスクトップでマウスの(右クリック)、[ディスプレイの設定] を選択。 ②[設定]画面が表示されるので、右側メニュー最下段の [詳細設定] を選択。	
2. 純正の(Excel)ですか？	<input type="checkbox"/>
純正の(Excel)とは、(Windows)上で動作する(Microsoft)製の(Excel)です。 [Excel2019][Excel2021][Excel for Microsoft365](旧：Excel for Office365)が対象です。 [Excel2013][Excel2016]も動作可能ですが、一部エラーが発生するケースもあります。 [Excel2013]以前については、(Microsoft)自体がサポートを終了している所以对応できません。 これ以外の(OS：MacOS・iOS・Android)や(Web)上で動作する(Excel)、 互換メーカー(Kingston等)の(Excel)はVBA(マクロ)が非対応なので対象外です。 【確認方法】 (Excel)のバージョンによって操作方法は異なります。 例：(Excel for Microsoft365) ①メニューバーより、[ファイル]-[アカウント] 又は [ファイル]-[その他]-[アカウント] 選択。 ②[Excelのバージョン]ボタンをクリック。	
3. 対象システム(ファイル)の拡張子は(xlsm)ですか？	<input type="checkbox"/>
当システムは、[VBA(マクロ)機能]を利用して動作している為、(マクロ有効ファイル：拡張子[xlsm])の必要があります。 【確認方法】 対象ファイル(アイコン)の上で(右クリック)、[プロパティ] を選択。	

2. 動作環境

チェック項目	チェック
4. (Excel)の設定で、(マクロ)の動作が可能になっていますか？	<input type="checkbox"/>
<p>【確認方法】 (Excel)のバージョンによって操作方法は異なります。</p> <p>例：(Excel for Microsoft365)</p> <ol style="list-style-type: none">①メニューバーより、[ファイル]-[オプション] または [ファイル]-[その他]-[オプション] と選択。②左側メニューより、[トラストセンター] を選択。[トラストセンター設定] ボタンをクリック。③左側メニューより、[メッセージバー] を選択。④[すべてのOffice・・・メッセージバーの設定] の [メッセージバーの表示] が、 [ActiveXコントロール・・・メッセージバーを表示する] になっていることを確認。⑤左側メニューより、[ActiveXの設定] を選択。⑥[すべてのOffice・・・ActiveXの設定] が、 [先に確認メッセージを表示してから・・・すべてのコントロールを有効にする] になっていることを確認。 [確認メッセージを表示せずに・・・] も可能ですが推奨しません。(一時的な試行だけにしてください。)⑦左側のメニューより、[マクロの設定] を選択。⑧[マクロの設定] が、[警告してVBAマクロを有効にする] になっていることを確認。 [VBAマクロを有効にする] でも可能ですが推奨できません。(一時的な試行だけにしてください。) <p>※この3つの設定で、ファイル初回起動時時に[コンテンツの有効化] ボタン が表示されます。 これ以外の設定の場合、何らかの意図がある設定と思われるため、セキュリティ責任者の了解の上、設定変更してください。 また、[すべてのOffice・・・] については、全ての(Office製品：Outlook,Word等) にも適用されます。 設定変更した場合、最後に[OK][OK] をクリック後、(Excel)を再起動してください。 再起動しないと設定は反映されません。</p>	

2. 動作環境

チェック項目	チェック
5. ファイル起動時に、メッセージバーに[コンテンツの有効化]ボタンが表示され、ボタンをクリックしましたか？	<input type="checkbox"/>
このメッセージは、上記4. の設定で [確認メッセージを表示せず] の場合は表示されません。 また、同一の(保存場所)(ファイル名)について、初回の一度のみ表示されます。	
6. ファイル起動時に、 [こんにちは！(おはようございます) 現在、プログラムは稼働中です] のメッセージは表示されましたか？	<input type="checkbox"/>
[VBA(マクロ)] が動作可能であればこのメッセージが表示されます。5. の[コンテンツの有効化]ボタンクリック時にも表示されます。	
7. 各シートに必要な[処理ボタン]が表示されていますか？	<input type="checkbox"/>
マクロが存在しないファイルの場合、ボタンも表示されないことがあります。	
8. [マクロ]が存在していますか？	<input type="checkbox"/>
【確認方法】 ①メニューバーより、[表示]-[マクロ]-[マクロの表示] と選択。 ②[マクロ]画面が表示され、画面左部の一覧にいくつかの[マクロ名]が表示される。 (mXXX)(mcrXXX)で始まる文字列 ※(mcrデータ移行)等	

以上の1～8の条件が満たされている場合、システムは動作します。

条件が満たされていてもシステムが動作しない場合、システム側では対処できません。

一般的なパソコンの動作環境ではないと想定されますので、パソコン管理者・購入元等にご確認ください。

2 - 補足. Excelのバージョン違いによるエラー回避方法

現在、古いバージョンの[Excel2013][Excel2016]でエラーが発生するケースを確認しています。
右のようなエラーメッセージ が出た場合には、設定により対処可能です。

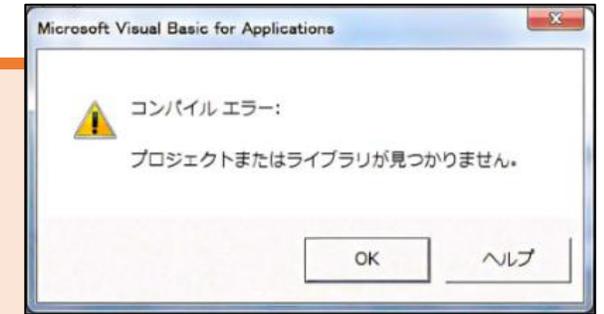
【対処方法】

①[OK]をクリック

- ・[Microsoft Visual Basic ……]画面になった場合はそのまま②へ
- ・元の画面に戻った場合、下記のいずれかの方法で、
[Microsoft Visual Basic ……]画面を表示させて②へ

- ・メニューバーより、[開発]-[Visual Basic] ※[開発]が表示されている場合のみ
- ・メニューバーより、[表示]-[マクロ]-[マクロの表示]と選択して、
表示された[マクロ一覧]のいずれかを選択し、[編集]ボタンをクリックします。
・[Alt] + [F11]

- ②画面上部のメニューバーより、[ツール]-[参照設定]を選択します。
- ③参照可能ライブラリー一覧より、[参照不可]となっている項目のチェックを外します。
- ④[OK]で画面を閉じます。
- ⑤右上の[×]をクリックして、元の画面に戻します。
- ⑥ファイルを一旦[保存]して閉じます。



3.初回のシステム登録

本システムを初回利用される際には利用登録が必要です。

システム管理窓口へご連絡いただき、以下の手順でロック解除してからご利用を開始してください。

①[コンテンツの有効化]をクリックすると、システム登録画面が表示されます。

②「問い合わせコード」をシステム管理窓口へ伝え、管理担当者から「解除キー」を取得します。

※本システムを閉じると「問い合わせコード」がリセットされるため、

「解除キー」を取得するまで**本システムを開いた状態**でお待ちください。

③取得した「解除キー」を入力欄に入力して[登録]をクリックします。

システム登録

問い合わせコード: 9670

解除キー (入力): 入力

登録

有効期限
お試し可能
お試し起動

取消 (終了)

■「システム登録」について
当システムを使用するには、「システム登録」が必要となります。
下記手順にて、「システム登録」処理を行ってください。
①画面に表示されている「問い合わせコード」を（管理者）に伝え、「解除キー」を取得する。
②取得した「解除キー」を入力して、「登録」をクリックする。

■「お試し起動」について
当システムを一時的に（お試し）として利用したい場合や、すぐに（管理者）と連絡が取れない場合、
最初の「お試し起動」時から（10日間）に限りシステムを仮起動させることができます。
また、（お試し期間）中・後でも、上記方法で正規の「システム登録」を行うことができます。

（[上書・追加]時に設定日数より古い情報を自動整理）

4. 注意事項

- ①プログラムが壊れるので**セルの削除は避けてください。**
※ただし、収穫日予測シートで行の削除をすることは問題ありません。

- ②ファイルは必ず**マクロを有効**にしてから使用開始してください。
※有効にする前に入力したデータは見た目には数字が入っていても、システムが自動計算する為のデータとして認識されません。
消してもう一度ご入力ください。

- ③列の削除はできませんが、列の非表示をすることは問題ありません。

- ④このシステムで**コピーし貼り付けすることは基本的にできません。**
※ただし、設定シート、品種シートで操作をすることは問題ありません。

5. よくある質問

Q1.セルの削除をしてしまった場合や、自動計算がおかしいな・・・と思ったら？

A.対象のセルだけでなく、不具合があった行一列分全てを消して、再度ご入力ください。

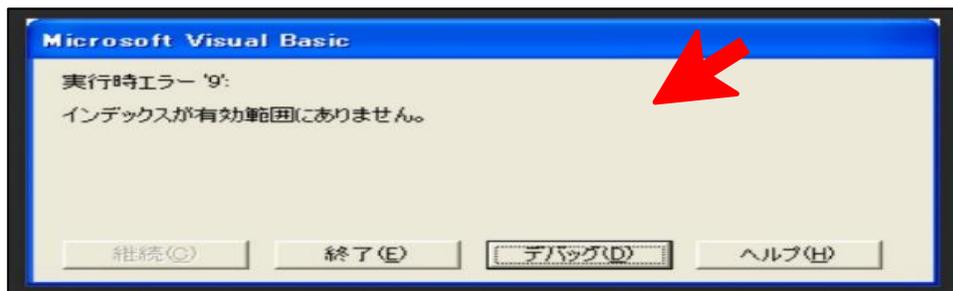
収穫日予測													
年間計画				(温度単位：℃)				播種時情報			収穫日(予測)		
播種予定	収穫予定	年度	回転	圃場ID	ハウス名	面積	想定量	播種日	品種	目標長	出葉予測	平均値	測定値

Q2.システムのエラーメッセージが出たら・・・？

A.下の画像のようなエラーが出た場合、[デバッグ]ボタンを押してエラーの発生した箇所のスクリーンショット画像と、エラーが発生したファイルと一緒にシステム管理窓口へお送りください。

対応が難しい場合、エラーが発生した状況をシステム管理窓口へご連絡ください。

[終了]ボタンを押すとエラーを無視して元の画面に戻ります。



6. バージョンアップ

本システムはバージョンアップを行う可能性があります。

バージョンアップが発生した際には、ユーザー自身が旧システムから新システムへデータ移行を行ってください。

【バージョンアップ操作方法】

- ① 新しいバージョンのシステムを開きます。
- ② 新しいバージョンのシステムの設定シートを開き、[データ移行(Ver Up)]ボタンを押します。

【収穫日予測システム】 バージョン： 3.00 (2025/4/1) **データ移行 (VerUp)** Windows 11 Pro (64 ビット) 10.0.26100 (16.0) 18623 [2504141000]
(葉物野菜)

【マネベジ連携設定】

[API設定]

グループID	アクセスキー
4	130

[取込方法]

作業記録	測定値(気温)	市況情報
CSV	マネベジ	マネベジ

接続テスト 設定値 暗号化
[#]付加：暗号化表示

[Wagri：1kmメッシュ気象データ]

緯度	経度
34.4110	132.4578

[Google Map] を開く [クリップボード] を展開

[Wagri：市況情報]

品目コード	産地コード	市場コード
31800	034	

[WAGR] 市況情報コード一覧

(設定なし(空白)の場合は、該当データを全て取得)

[緯度・経度]取得方法

- ① [GoogleMap]を開く
- ② 取得対象の場所で[右クリック]
- ③ サブメニューの一番上(緯度・経度)をクリック
→ [クリップボード]に自動でコピー
- ④ [クリップボード]を展開

- ③ ファイル選択画面が表示されるため、データを移行したい**旧システム**を選択してください。